

## 令和7年度第1回東郷町地域公共交通会議 議事録

日時 令和7年6月19日（木）

午前9時30分から午前11時50分まで

場所 東郷町役場2階 大会議室

出席者（敬称略・順不同）

|    | 役職  | 所属等                            |
|----|-----|--------------------------------|
| 1  | 会長  | 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授       |
| 2  | 副会長 | 東郷町福祉こども部長                     |
| 3  | 委員  | 諸輪地区代表                         |
| 4  | 委員  | 祐福寺地区代表                        |
| 5  | 委員  | 白土地地区代表                        |
| 6  | 委員  | 御岳地区代表                         |
| 7  | 委員  | 名鉄バス株式会社 運輸本部 交通企画官            |
| 8  | 委員  | 公益社団法人 愛知県バス協会 専務理事（代理出席：業務課長） |
| 9  | 委員  | 瀬戸自動車運送株式会社 取締役                |
| 10 | 委員  | 名古屋タクシー協会 専務理事                 |
| 11 | 委員  | 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事            |
| 12 | 委員  | 国土交通省中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官    |
| 13 | 委員  | 愛知県都市・交通局 交通対策課担当課長（代理出席：主事）   |
| 14 | 委員  | 愛知県尾張建設事務所 維持管理課長（代理出席：総括専門員）  |
| 15 | 委員  | 東郷町まち整備部長                      |
| 16 | 委員  | 日進市都市産業部 都市計画課 移動政策室長          |
| 17 | 委員  | みよし市経営企画部 企画政策課主幹              |
| 18 | 委員  | 豊明市行政経営部 企画政策課長                |

欠席者 2名（和合ヶ丘地区代表、愛知県愛知警察署 交通課長）、傍聴者 7名

## 1 町長あいさつ

- ・ 昨年6月に町長に就任して以来、多くの町民の皆さまと意見交換を行ってきたが、公共交通に対する意見を多くいただき、改めて関心の高さを感じている。その中でいただく意見としては、要望だけでなく、感謝の声も多くある。今後の意見聴取でも、課題や要望だけでなく、良い意見等も町民の皆さまからいただけるようにして、それもまた反映していきたい。
- ・ 公共交通に関する業務に対しスピード感を持って対応するために、4月の組織機構改革で新たに「公共交通対策室」を設置した。
- ・ 6月からは地域の輸送資源を活用した新しい取り組みとして、三好自動車学校様のご厚意でスクールバスの空席を利用する実証運行を開始するなど、多様な交通手段の確保に努めている。
- ・ 次期地域公共交通計画の策定及び巡回バス路線の見直しに向けて、8月から各種アンケート調査や各地域へ出向いた住民懇談会を予定しており、より多くの町民の皆さまの声を拾い上げていきたい。
- ・ 本町の公共交通に対する取り組みや課題について協議いただき、町民にとってより良い公共交通となるように、忌憚のない御意見いただきたい。

## 2 委嘱状交付

- ・ 委員に委嘱状を交付。
- ・ 委員互選により、会長を選出（名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授を会長に選任）。
- ・ 会長指名により副会長を選出（町福祉こども部長を副会長に選任）。
- ・ 会長指名により監事を選出（祐福寺地区代表、町まち整備部長の2名を監事に選任）。

## 3 会長あいさつ

- ・ 地域公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状態が続いているのが、コロナ禍からの回復という意味では一段落ついてきたと思っている。コロナの影響はほとんどなくなり、この状態が今後も続くと思う。そういう意味で、より一層の利用促進、利用を増やすという攻めの手立てが求められる段階になってきている。
- ・ 一方で、公共交通を取り巻く住民の方々、地区の状況、ニーズや人の動きも年々変わってきている。先ほど町長が言われていたスピーディーに対応していくというのは本当に大事なことで、それが可能なのがこの交通会議だと思う。
- ・ 町長が、住民の声を聞く、皆さんの声を聞くということをすごく強調されており、まさにその通りだと思っている。ぜひ、地域住民の方々の声を聞きながら、より良いものを皆と一緒に作り上げていきたい。
- ・ ただ、全てを満足する解は出てこない。どこかは我慢してもらわないといけない事が

あると思うが、我々にとって大事なのは全体を最適にしていくということである。個別の地区や方々にとってというのはすごく大事ではあるが、この会議体としては、全体という視点あるいは中長期の視点を持ちながら検討いただきたい。

#### 4 議題

##### (1) 令和6年度事業報告について（資料1）

【事務局資料説明】

<会長>

- ・ イベント開催に関しては、交通事業者さんの協力があったのことだと思っており、改めて感謝申し上げます。
- ・ 特に子供たちが喜んで乗っている姿が印象的である。

※議題(1)について質問・意見等なし。委員の承認を得た。

##### (2) 令和6年度歳入歳出決算報告について（資料2）

【事務局資料説明及び監事から監査報告】

※議題(2)について質問・意見等なし。委員の承認を得た。

##### (3) 地域公共交通計画認定申請について（資料3-1、3-2）

【事務局資料説明】

【愛知県都市・交通局交通対策課より補足説明】

<愛知県都市・交通局交通対策課>

- ・ 名鉄バス星ヶ丘・豊田線（東西線）に関しては、6月6日に開催された令和7年度第1回愛知県公共交通協議会バス対策部会において、地域間幹線系統に位置付けることで承認いただいた。現在、国への申請の手続きを進めている。
- ・ 補助の要件の1つである計画輸送量が16.9人と下限の15人に近い状況であり、下限を下回ると補助対象路線として認められない恐れがあるため、引き続き周知等の取組をお願いしたい。また、本日出席の皆さまには、ご家族やご友人に公共交通機関への乗車を働き掛けていただきたい。

<諸輪地区代表>

- ・ 資料3-2（計画別紙）に北コース及び南西コースについては記載があるが、東コースについての記載がない。どうして記載していないのか。
- ・ 資料3-2の「19 利用者等の意見の反映状況」について、本当に意見を吸い上げ

た実態となっているか疑問である。いいことばかり書いてあるように感じる。

<事務局>

- ・ この資料は国庫補助の申請の対象になっている路線についてのみ記載されており、東コースは補助要件から外れているため記載していない。
- ・ 「意見の反映状況」については、公共交通会議での意見を基にし、住民から役場へ寄せられる意見や交通事業者に求められる意見を反映した取組みを記載している。東コースの現状と比較してその内容の記載がない、軽視されている、また東コースが大きく変わった令和3年の改編後に出る不満や不便になった実情に関してどうなのかという意見だと思うが、改編後もダイヤ見直しや停車バス停の変更等、軽微な修正は行っている。これまでにいただいた意見を汲むべく、令和6年3月に計画を一部改訂し、新たに3つのアクションプランを定めた。その1つが地域の輸送資源を活用した事業であるが、実証実験であり既存事業者の運行資源を活用するものであるため、不便に思われている地区の利便性がすぐに向上し、問題が解決するわけではない。今後2か年をかけて計画策定とあわせて、じゅんかい君の路線等を見直し、皆さまにとって更に利便性の良い公共交通のあり方を模索していきたい。

<諸輪地区代表>

- ・ これからより良くするために地域の意見を次からの計画に反映していただけないかということをお願いしたい。

<愛知県バス協会>

- ・ 事業の目標について、利用者1人当たりの経費を基に設定されているが、経費は年々変動しており高騰することが多く、他自治体では利用者数や利便性の向上などを目標値として設定していることが多いと思う。経費を基準にしているのは、どういう意図か。

<事務局>

- ・ 計画本体で、経費を基に算出した利用者数を目標値として掲げており、計画本体で設定した目標値を既に達成している状況で新たに事業目標を設定するにあたり、同様の経費を基に算出するという考え方で目標を設定している。後ほど資料で説明するが、経費については物価上昇分を加味した値を用いており、近年の利用者及び収入の伸びを考慮しながら、目標値を設定した。

<会長>

- ・ 考え方としては経費を基にしているが、目標はあくまで利用者数か。今後の中東の状況等によっては、ガソリン等の価格が上昇し、目標値算出の基としている1人当たりの運行経費は達成出来なくなる可能性があるとは思いますが、計画別紙の事業目標は利用者数ということで間違いないか。

<事務局>

- ・ その認識で間違いない。

<会長>

- ・ 補助金申請のための計画書であり、東郷町全体の公共交通計画ではない。国への補助申請の対象路線は北コースと南西コースになっており、同様に県からは名鉄バス星ヶ丘・豊田線（東西線）が申請されるとご理解いただきたい。
- ・ 今後、愛知運輸支局とやり取りをして軽微な修正はあるかもしれないが、本質は変わらないので事務局にお任せいただきたい。

※ 議題(3)について、委員の承認を得た。(計画提出にあたり修正が必要となった場合は会長に一任)

(4) 地域公共交通計画の評価等結果について（資料4）

【事務局資料説明】

<愛知県バス協会>

- ・ 資料の表では、公共交通全体の利用者数は未達成だが、じゅんかい君及びデマンドタクシーは約 10%増になっており、その他が足を引っ張っていると読み取れる。それに対して、今後の課題や取組にじゅんかい君については記載があるが、未達成である部分のテコ入れ等はどうするのか。また、良くなったところのみ記載されており、足を引っ張っているところの記載がないのが気になる。
- ・ 目標として設定してあるじゅんかい君の満足度は、じゅんかい君以外の他の交通手段の整備をしても向上には繋がらないと思うので、公共交通全体の満足度とするべきではないか。

<事務局>

- ・ 課題や取組に関しては、「町内全地区へのチラシ回覧等により周知を図る」と記載しているが、具体的には名鉄バス東西線を周知して利用者数を増やすことを目的として記載している。
- ・ 満足度については、元々の計画でじゅんかい君の満足度を掲げていたので本資料でも目標値としているが、最終的には公共交通全体の満足度を上げることが必要であると考えている。今年、次期計画策定に向けてアンケート調査等を行い、色々な意見を吸い上げて公共交通全体の満足度を上げていく取組を行っていきたい。

<会長>

- ・ 計画策定時にじゅんかい君の満足度として目標設定したのでこの評価となったが、本来は公共交通全体を視野にいれるべきで、全体の満足度を上げることが大事だと認識しておきたい。
- ・ 一番伸び悩んでいるのは何か。

<事務局>

- ・ 名鉄バス路線が微減ではあるが、利用者数自体が多く、母数が多いのでその影響が大きい。

<会長>

- ・ マクロ的には、通勤通学を主体とした幹線は、どこも厳しい状況になってきているが、一方で町内の移動は好調である。これは、生産年齢人口の減少と高齢者の増加が反映されていると思う。その中で、どう利用者を増やしていくかを模索しなくてはならない。そのために、周知、バスロケ、GTFS などの情報提供は重要である。回覧も地道だが欠かせない取り組みだと思う。
- ・ 毎年 1 回、この会議で地域公共交通計画に記載の目標の評価を国に提出することとなっている。特に異論はないか

※ 議題(4)について、委員の承認を得た。

(5) 次期公共交通計画策定等に係るニーズ調査実施について（資料 5－1～5－9）

【事務局資料説明】

<愛知県バス協会>

- ・ 令和 3 年度の再編時にも議論があり、当時はセントラル開発志向で進めたと思う。今回もアンケートや住民懇談会が一番重要になると思うが、調査と見直しまでにタイムラグがある。熱い意見や議論が忘れ去られることなく、見直しまで進めていくことが大事だと思う。

<事務局>

- ・ 今年度、アンケート及び住民懇談会を実施し、見直し方針案をもとに来年度にも住民懇談会を再度開催して意見を募り、ルート・ダイヤ検討後にもパブリックコメントを実施するという形で、その都度意見を吸い上げて微修正も含め、タイムリーな意見を反映させるよう実施していきたい。

<会長>

- ・ 計画策定にあたり都度毎回というわけにはいかないが、皆に情報提供できると良い。会議資料は公開されるので誰でも見ることはできるが、見に来てもらわなければいけないので、広報誌に計画策定中はコラム欄を設けて、進捗状況を掲載するなども工夫があっても良いと思うがどうか。
- ・ 懇談会やアンケートで熱い意見や思いがあっても、実際の運行開始は令和 9 年 10 月で期間があるので、トーンダウンしないようにも情報発信し続けるというのもひとつの案なので、方法も含めて検討いただきたい。

<事務局>

- ・ 検討する。

<名古屋タクシー協会>

- ・ 事業者や事務局の意見や回答等、色々な議論を見てきて、やはり地域住民の意見は大変重要だと思うが、全てというのはなかなか難しい。特に交通が不便となった地域の方々の意見は本当に大事だと思う。
- ・ 計画策定・路線見直しにおいて、じゅんかい君だけで良いのかと思う。デマンドタクシーはデマンドと言っても普通のタクシーのようなものであるため、乗り合い移動ができる世間的によく言う「デマンドタクシー」も今後必要になるかどうか、タクシーは何ができるのか、地域住民、行政、事業者を交えて議論していただきたい。それが住民懇談会の大きな目的であろうと思う。

<事務局>

- ・ ご意見を参考にして、住民懇談会やアンケート調査がこういった形が最適かを考えながら進めていきたい。

<会長>

- ・ ふさわしい商業輸送の形の検討だと思うが、需要の分析が必要になると思う。今のデマンドやじゅんかい君の利用状況等のデータをしっかり分析しながら、将来の人口構成等々も踏まえた中で必要の可否、車両の台数などが検討できると思う。アンケートとは別に検討する必要があると思う。

<諸輪地区代表>

- ・ 「何がいいのか」という意見が出てくるような設問がアンケートにほしいと思った。町民アンケートは 3,000 通ということだが、満足度が高い地域は現状で満足しているということだと思うので、不満が多い地域からアンケートを多く取る事はないか。
- ・ 諸輪地区の先輩諸氏から色々な意見を聞いていて、今までも熱い意見を何回も出したと思うが、それを忘れないようにしていただきたい。先月行った「町長と語ろう会」でも色々な意見が出て議論したが、アンケートや住民懇談会等を色々やっていく中で、今まで出た議論が無かったことにならないようにお願いしたい。

<事務局>

- ・ アンケートは無作為に、地区や年代等が偏りなく均等になるように配布することが大事なので、不満が多い地区を多くとは考えていない。
- ・ 今までにいただいている意見や、今回実施するアンケートや住民懇談会の意見は議事として残しているので、見返しながら計画策定や路線の見直しに反映させていきたい。

<会長>

- ・ 「町長と語ろう会」で出た公共交通に関する意見を事務局は把握しているのか。

<事務局>

- ・ 把握している。関連する議題がある時は、部長が参加して意見を聞いている。

<会長>

- ・ そのいただいた意見を今後の見直し等々に活かすのであれば、この会議でその情報を共有していただく必要があると思う。量によって全部は難しいと思うので、我々が知るべきことはまとめていただきたい。
- ・ 不満が多いところを多くという気持ちはわかるが、アンケートは統計量をとるもので、全体としてどのくらいの割合の方が何を考えているかを捉えるのがアンケートの趣旨なので、満遍なく取る必要がある。声を聞くという意味では地区懇談会を行うので、積極的に参加いただくことが必要だと思う。地区代表の皆さんは、持ち帰って周知していただきたい。

<中部運輸局愛知運輸支局>

- ・ 策定スケジュールについて、令和9年3月策定予定となっているが、補助を受けるためには計画を策定していなければならず、補助対象期間が10月から9月であるため、来年度事業に半年の空白期間が出ることになる。来年度は補助申請を一旦提出していただいて、計画ができたら変更申請を出す流れになる。その時、計画の認定に1ヶ月程度かかるので、3月上旬までに策定していただきたい。

<事務局>

- ・ 3月上旬を目標として、できるだけ早く策定できるように進めていきたい。

<バス協会>

- ・ 公共交通計画の計画期間は長めで10年となっているが、10年という期間に世の中はダイナミックに変化する。10年後を見据えての交通計画を作るためには、上位計画との整合性もあると思うが、アンケート調査ではどうしても今使っているもの基準に回答してしまうので、10年計画の礎とするなら現状のアンケートはどのようなかという思いもある。また、期間に関して、前回は途中で見直しをされているので、前後期で分ければ問題ないかと思うが、長い計画期間の最終的なありたい姿の見せ方を住民の方々にも前提として示していただけると良いと思うがどうか。

<事務局>

- ・ 本町の総合計画等の上位計画が10年で策定しているので、そこに合わせて10年としている。前回は6年の計画で3年の時点で見直しを行った。今回も基本の計画は10年とし、5年で中間見直しを行う形で、その都度状況に応じて計画の改定を行っていきたい。

<会長>

- ・ 都市計画などはハード整備があるので中長期にならざるを得ないと思う。一方、鉄道を含まない公共交通としてはもっと短いスパンで見直していかなければならない。ただ、計画として1本大きな柱を立てて、事業として都度見直していく計画にするのはひとつだと思う。10年後の姿を描けるかが大事なことで、足元だけの計画ではなく、10年後の姿を描きながら事業としては数年ごとに見直していく

計画にできれば良いと思う。その辺を意識して作っていただきたい。

<諸輪地区代表>

- ・ 10 年先の公共交通と考えるのであれば、鉄道を引いてくるというような考えもなければ長期計画とならないのではないかと。未来ある東郷町とするためには、そのような夢もあっても良いのではないかと。
- ・ アンケート調査票について、持ち帰って地区の皆に意見を聞いて、フィードバックしたいが、いつまでにすれば良いか教えていただきたい。

<事務局>

- ・ アンケート調査について、現在の予定では8月の発送を考えているので、文言の修正等は可能だが、中身の大幅な変更は難しい。

<会長>

- ・ いや、そこは直してほしい。何をもって大幅な変更とするかわからないが、皆さんの意見をいただいて直すべきところは直すように頑張してほしい。とはいえ、それほど時間はないので、今月いっぱいぐらいの猶予をいただいて、地域に持ち帰ってご確認いただき事務局にお寄せいただきたいと思うがどうか。

<事務局>

- ・ 6月27日（金）までに回答いただければ、反映は可能と考えている。時間はあまりないが、それまでに回答いただきたい。

<会長>

- ・ 6月27日までにお気づきの点があれば事務局に寄せていただく。いただいた意見を全て反映できるわけではないが、事務局と私も確認させてもらうので、一任いただきたい。
- ・ 鉄道をひくという話がでたがどうか。

<事務局>

- ・ 鉄道に関しては、この会議だけで決められる問題ではないが、厳しい話であると感じている。

<会長>

- ・ 現実的に厳しいと思うが夢を持つのは大事で、10年の計画で町民の方々に夢を持ってもらえる姿を描いてほしいと思う。鉄道自体は厳しいと思うが、BRT(Bus Rapid Transit: バス高速輸送システム) などであれば可能性はある。あるいはタイヤを使った新しい走行システムなど、可能性はあると思うので計画に入れるかはともかく、そういう姿を見せられるようにするのは大事だと思う。

<諸輪地区代表>

- ・ 国道 153 号線を作る時に上に高速道路が通るという話があったと聞いたことがある。近隣自治体とタッグを組んで設置同盟等を作るなど、そういうことも考えながらやっていけば前進できるかなと思う。

<会長>

- ・ まち整備部長、回答お願いできますか。

<まち整備部長>

- ・ 高速道路が通るという話は存じ上げていないが、国道 153 号線の 6 車線化に関しては、近隣自治体で協議会に近い形で毎年国に要望を出している。すぐに 6 車線化が難しいかもしれないが、各交差点部分を含めて渋滞緩和のため、国と市町が連携して国に実施いただいている。6 車線化等に向けては今後も進めていこうと考えている。

<会長>

- ・ そういう夢があると良いと思う。前向きな気持ちになることが大事である。
- ・ アンケートは現状の交通手段に対しての調査となっているが、10 年後とまでではなくても、乗り合い型のデマンドや共助型の交通、自動運転なども入ってくると思うが、そういうものに対するニーズ等は捉えられないと思う。オンデマンドか良いのか、定時定路線が良いのかも捉えておく必要があると思う。町民アンケートではどんな交通手段が望まれるのかを明らかにできると良いと思う。
- ・ 徒歩距離、所要時間、料金等の何を重視するかを聞くことで、地区により望まれる交通手段が見えてくると思うので、既存の交通と違うものが浮き彫りになる設問も入れてはどうか。そういう調査は経験があるので情報提供させてもらう。
- ・ これに関してお気づきの点があれば 6 月 27 日までに事務局までお願いしたい。

## 5 その他

- (1) 東郷町コミュニティバス、デマンドタクシー及び名鉄バス東西線の利用状況について（資料 6-1、6-2、6-3）

【事務局資料説明】

- (2) 令和 7 年度東郷町地域公共交通計画に関する事業報告について（資料 7）

【事務局資料説明】

- (3) 地域の輸送資源活用事業（実証運行）について（資料 8）

【事務局資料説明】

- (4) 巡回バスへのキャッシュレス決済（QR コード決済）導入について（資料 9）

【事務局資料説明】

- (5) サイクル・アンド・ライド本格実施について（資料 10）

【事務局資料説明】

<会長>

- ・ 三好自動車学校のスクールバスの活用、じゅんかい君へのキャッシュレス導入、ライクル・アンド・ライドが行われているので、地域の皆さんにもお知らせいただきたい。

(6) その他

<会長>

- ・ 事務局から他に何かあるか。

<事務局>

- ・ 特にない。

以 上